

研修親睦旅行 静岡方面

平成26年9月6日(土)~7日(日)

INDEX

研修親睦旅行	1~2
千葉市民花火大会	2
臼井先生連載	2
会員企業訪問	3
例会委員会/スケジュール/私の近況	4
会員異動/編集後記	4



## おもてなしの旅 静岡

毎年恒例の研修親睦旅行の季節がやってきました。会員・ビジター合わせて総勢23名の旅、目指すは静岡方面。

千葉駅近くのNTT前に集合、乾杯の発声と共に出発。高柳会長からの挨拶、次に竹口親睦委員長の挨拶と委員長からこの旅をサポートする親睦委員会のメンバーの紹介。静岡への移動中には伊藤嘉國氏による世界遺産クイズが皆の頭を悩ませる。

高速道路の事故渋滞の影響で2時間の遅延でしたが清水港にある総合テーマパークのエスパルスドリームプラザに到着し、昼食を清水港名物の新鮮なお寿司を堪能。

残念な事に今回の目玉の一つでした三保の松原見学は事故渋滞の遅延とあいにくの曇り空なため断念し次の目的地に。

バスで日本平山頂まで上がりロープウェイで久能山山頂へ。徳川家康公を東照大神として祀った最初の神社である久能山東照宮に参拝後、今回の宿である浜名湖を見渡せるホテル浜名湖グランドホテルさざなみ館に向った。

到着後、長旅の汗を風呂で流し大宴会場へ。高柳会長の挨拶に始まり、多忙の中にも宿から合流した臼井先生の挨拶で宴会のスタート。

海の幸に舌鼓を打ちながら飲むお酒は格別。続いてカラオ



ケ大会へ進み皆さんの美声が轟く。会員企業から協賛頂いた豪華景品争奪じゃんけん大会と続き夜は更ける。

二日目は朝食を早々と済ませ浜松基地広報館エアーパークで航空自衛隊の歴史や装備・退役した航空機の実物を鑑賞。

焼津市まで移動し、焼津さかなセンターで新鮮な海産物や乾物などのお土産を物色。

昼食は静岡市に移動、東海道五十三次20番目の宿場である丸子宿の一松園(いっしょうえん)にて名物とろろ汁を頂いた。すり鉢いっぱいに入った自然薯のとろろ汁を麦ごはんにかけて飲み込み、ビールも飲み込みお腹がパンパン。

食後の運動で静岡県庁横にある駿府城公園に。家康公の銅像や家康公が植えたとされているみかんの木を鑑賞しながら散策し、夕刻になり名残惜しくも静岡から一路千葉に。



日曜日の渋滞を抜け、竹口委員長から参加者にお礼の言葉もあり、千葉駅近くのNTT前に到着し、無事に竹口委員長と親睦委員の方々からの随所にみえるおもてなしの心で楽しい旅を終えました。(内藤 記)



千葉市納涼花火大会鑑賞

平成26年8月2日(土)

於：幕張海浜公園

8月2日(土)晴れ、午後6時半。まだお日様も高いうちから幕張海浜公園集合。集合時間まもなく入口にプラカードを持って待つ。観覧席は上席。

太陽が海に姿を隠すころにはビールも進み、花火の打ち上げが待ち遠しい。夜空には夏の大三角形三日月の競演、時々遠くに飛行機も参加。

暗い夜空に一発目の花火が上がる。会場の大歓声から夢見心地へ。

何よりうれしいのはご家族連れ、お子様連れのご参加でした。参加者48名様のご協力を御礼申し上げます。

検見川神社様、感動的な夏の一夜をありがとうございます。(親睦委員会委員長 竹口満代)

連載

うすい日出男の  
〈こくせいふかん〉の目

## 朝日慰安婦問題は、 出発点である

先般突然、朝日新聞社が、吉田清治氏が済州島で慰安婦を強制連行したとする発言は虚偽であると判断して、記事の取り消しを発表し、社会を驚かせた。

本件が問題になったのは、今から20年以上前の1991年のことで、何を今更?と思うと同時に、5大新聞の一つである朝日が当初から、不自然な問題が多かった吉田証言を敢えて事実であるかのように取り上げ、前後16回に及んで新聞掲載してきたことが大問題である。“大朝日”が吉田証言を正しいものと保証することによって、その後の河野洋平官房長官の公式陳謝表明となり、アメリカにおける“慰安婦記念像”になってきたわけで、朝日新聞社が今日までに30年余に亘って、放置してきたことの責任は極めて大きいと言わざるを得ない。(テーマから外れるが)この朝日新聞の報道と同時に、多くの朝日新聞の論説関係者が、反省の弁を述べており、それほど多くの内部批判があったにも関わらず、その内部の意見が反映されなかった“朝日の経営体質”こそ、反省されるべきだと思う。

この朝日新聞の“従軍慰安婦誤報”問題は大きな波紋を投げかけたが、慰安婦問題については、この報道は新たなるスタートとなるものである。

吉田清治氏の告白自伝を信じることにより、朝日新聞の報道となり、1992年の河野談話となり、1995年の終戦記念日における村元総理の発言となり、日本政府が正式に軍部の慰安婦問題への関与を認めることにつながるの、改めて吉田証言の欺瞞を明確にすると共に、「河野談話の見直し」、「村山元首相の発言見直し」をすべきで、お二人に国会での証人喚問をする必要があると考える。河野、村山両氏は、現在でもいろいろな場において、従軍慰安婦問題について、当時の軍部の関与を認め、陳謝の意を表明しているからだ。公の立場でこの審議を明らかにすることによって、我が国の公式の立場が、この二人の発言にはないということを明確にすることによって、国際社会に対して我が国の立場を明確にして、慰安婦像などの問題に対処していく必要がある。

元衆議院議員 白井日出男



## 第19回 医療法人社団福寿会・鷺見医院

### 実家病院の危機をV字回復させた救世主

介護施設を軌道に乗せ、  
地域貢献に情熱を注ぐ！

#### 病院の建て替えから赤字垂れ流し状態に

“ピンチはチャンス”などという生やさしい状況ではなかったようだ。それはおよそ5年前、鷺見隆仁氏が理事長に就任する前のことだった。

当時の理事長で歯科医の実父が経営していた鷺見医院は、隆仁氏の祖父が創業してから70年近くが経っていた。そのため病院の建物は老朽化が目立ち、建て替えが急務の状態だった。そこで先代は、銀行からの融資を前提に建て替えを計画したものの、銀行の承諾を得られない。歯科と内科だけの病院経営では融資はできないというのである。

予想外の結論に先代は困り、日本歯科大学からの出向で防衛省市ヶ谷駐屯地内にある共済病院で歯科医をしていた隆仁氏に相談。隆仁氏は、介護サービス付き高齢者専門賃貸住宅の併設を提案し、今後の経営ビジョンを描いた。医療法人としては千葉県で初の試みだった。

このビジョンによって銀行は融資を承諾し、現在の立派な病院兼高齢者向け住宅ができたのである。

ところが、である。ここからが問題なのだが、肝心の経営がまったくうまくいかない。

高齢者向け住宅は65部屋あるのだが、10部屋がやっとの入居状態で、数十人揃えたスタッフは過剰。人件費をはじめとして経費ばかりが毎月どんどん出ていく。しかも、介護施設の経営指導のために契約したコンサルタント料の負担が重くのしかかった。

要は、赤字がどんどん累積していく状況だったのである。

オープン直後はまだ防衛省の病院に勤務していた隆仁氏は、こう振り返る。

「人件費に多額のコンサルタント料、これが大きかった。どんどん経費ばかりが出ていく状態で、これはまずいと危機感がいっきよに高まりました」

先代には申し訳ない書き方になるが、この窮状を招いた要因の一つは、先代の経営センスにあったと推測される。隆仁氏の実父である先代は、60代後半の年齢で歯科医としてまだ現役であり、昔から患者の評判も良い。ただ、歯科医に限らずこの年齢以上の医師は、黙って待っていれば患者が頭を下げて集まってくる時代を生きてきた。

したがって、今日のように病院や医院の競争が厳しく、医療技術以上に経営手腕を求められる時代には合わない感覚が染みついていく。

まして、経験のない介護施設の運営を行わなければならないのである。コンサルタント会社の指導を受けるのは悪くな



いとしても、そのコンサルタントの良し悪しを判断する材料を持ち合わせていなかったと思われる。

#### 地元の有力病院に頭を下げて学び歩く

隆仁氏としては、赤字が垂れ流されている状況を遠目で見ているわけにはいかなかった。なにしろ、70年続いた「実家病院」の危機が迫っていたのである。

「長男ですし、介護施設の併設を提案したのは私だったこともあり、なんとかしなきゃと……。その危機感は父よりも切迫していたと思います。千葉県は、介護施設がどんどんできて、激戦区になっていましたから」

病院の理事からも、「ビジョンを描いたのは若先生だし、若先生に立て直してもらえない」という声が上がっていた。

そして、隆仁氏は自ら動き出した。方法論だけでは立て直せないと考えたのであろう。介護施設と病院経営を根本から立て直すためには、まずは謙虚に学ぶことから始めようと、柏戸病院や井上記念病院、三愛記念病院など地域の中核病院を中心に門戸を叩き、教を乞いに歩き回ったのである。

「億単位の借金があるのですから、必死でした。勉強させていただくと同時に、高齢患者の退院後の受け皿施設としてうちの高齢者住宅を考えてほしいとお願いもしました」

立て直しを決意してから、隆仁氏は家族と共に千葉に戻り、理事の立場でこうした“学習”を重ね、先代の了承を得ながら大胆なテコ入れを断行した。

千葉に戻るときには、奥さんは激怒したと言う。都内で家を構え、子どもも生まれ、大学病院の歯科医として安定した生活をしていたところ、突然リスクを背負った転身を決意したのだから、妻として反対するのも頷ける。

ちなみに、奥さんも同じ歯科医であり、青森の実家も歯科医院である。そうした背景もあり、最後は理解を示したようだ。

ともあれ、隆仁氏の大胆な改革断行により、鷺見病院全体の経営は急速に持ち直し、V字回復を見せ始めた。そこで理事会の総意により隆仁氏は理事長に就任した。2011年の夏、32歳のときである。

介護サービス付き高齢者住宅の入居率は現在85%、入居者の評判も良く、順調に推移している。

「地域に貢献したいという思いがずっと強かったので、ここに骨をうずめる覚悟でやります。これからは医療介護以外の分野でも役立つことをやりたいとも思っています」

すでに保護司の役目を自ら買って出ている。そして、来年の春には県議だった祖父の意思を継いで、自ら県議選に打って出る予定である。

(取材・文／奥平。次回訪問企業募集中)

## 例会委員会

7月夕食例会 平成26年7月24日(木)

今年度の夕食例会は「女性の経営者」をテーマとし、千葉で活躍している女性社長をお迎えして卓話をしていただいています。

7月の夕食例会では各種イベントや研修講師、アーティスト派遣からレストラン経営まで幅広く事業をされている株式会社ボイスコーポレーション代表取締役 阿部ひとみ様にお話を伺いました。

幼少期にお父さんから「アナウンサーになるといい」と言われ、大学卒業後にテレビやラジオのアナウンサーをされた後、司会業へと転身。千葉で成田空港の開港に合わせて建設しているホテルに営業に出かけ、建設現場の責任者に気に入られ、一流ホテルから仕事をもらえることになったことをきっかけに法人化をしたとのことでした。なお、法人化のための資

本金などの費用は、自身の営業活動の片手間に住宅のパンフレットを配ったところ、何軒も販売することができ、その販売のマーヅンで賄ったというエピソードもお話しいただきました。数千人が集う京セラ(株)の稲盛名誉会長の勉強会「盛和塾」世界大会の司会も務め、ご自身も第一線で活躍されていらっしゃると思いますが、今後は後進の指導にも力を入れていきたいとのこと、ますます活躍が期待される女性社長でした。

8月夕食例会 平成26年8月28日(木)

8月夕食例会には、成田に店舗を構える理容室「ヘアーサロン銀座マツナガ成田店」の店長の濱田有美子様を卓話講師にお迎えしました。

ご両親が理容室を経営されていた影響で、自身も千葉の理容専門学校を卒業したのちに、山口県の理容室に住み込みでの実施訓練を経験した濱田さん。お休みがほとんどなく非常に厳しい指導の職場で技術を磨き、コンクールで二度の優勝を経験したのちに、成田のお父様のお店を継ぎました。しかし、濱田さんの厳しい指導についていけない後輩やスタッフが次々とお店を辞めてしまい、従業員がたった一人になってしまったところで京セラ(株)稲盛名誉会長の勉強会「盛和塾」に出会います。その後、自身の店舗の立て直しに加え、理容業界全体のことも考えて様々な改革をしていった結果、女性客が増え、価格破壊が進む業界において高い客単価を維持し、辞める従業員も減り、現在では海外からの出店オファーが来るまでに成長したそうです。マッサージやエステなどのメニューを取り入れる、夜の練習を辞めるなど、業界内の常識を破り、どうしたら従業員が幸せになれるか、お客様に喜んでもらえるかを追求し、成長し続けている濱田さんの姿に感心するとともに、応援の声が集まる卓話でした。

(例会委員会 永田洋子)

## 私の近況

### 小川智之さんの巻

お陰様で、昨年の6月をもちまして2年間勤めました議長職を無事終えることができました。これも偏に月星会をはじめ、関係各位のご理解ご協力の賜物とこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。

現在は、この6月より千葉市の監査委員を務めております。普段とは違う視点で行政をチェックできるというのは非常に勉強になるところであります。

監査には行政監査や決算に関わる審査のほか、財務監査、工事監査、財政援助団体等監査があり、さらに住民監査請求による監査もあります。市民の皆様には行政の怠慢が見られるような時には是非この住民監査請求も活用して頂きたいと思っております。詳細は千葉市監査委員会事務局のホームページをご覧ください。

さて、その住民監査請求の対象に全国的にもよくなるのは政務活動費についてです。今年7月初めの号泣議員の会見以来、大変注目を浴びている政務活動費ですが、千葉市でも平成21・22年度にオンブズマン等から何度も請求があり、大変だった記憶があります。しかし、千葉市は全国の判例を元に比較的厳しい使用基準を設けていたため、考え方の相違により市への返還請求は一部あったものの、偽造や私的流用といったような悪質な事例はなく、現在も適正に使用されています。今回の騒動を受けて、一部の方から政務活動費について前払いでなく、都度払いすべきだとか、第三者評価制度を設けるべきだという意見がありますが、どれも議員のみならず議会事務局の負担が増すだけで、最終的にはコスト増に繋がるだけだと思います。結局、個々の議員の倫理観に基づくものですから、システムを変えるより、議員を変えていかなければならないと思います。いずれにしても、市民の負託に応えるため、これらも市政発展に努力精進して参ります。



## 会員異動 退会

原田 義一氏 (有)トータルマネージメント

千葉 康隆氏 千葉産業(株)

## 編集後記

研修親睦旅行に参加しました。驚いたのは、皆さんお酒が強いこと、というか好きなんですね。なにしろ出発地からバスが動き出すとすぐに缶ビールを空ける音が……。昼食時も、そしてもちろん夜の宴会時も、浴びるほど飲んでいました。私も嫌いではないのですが、先輩諸氏(男女問わずです)にはとてもかたないません。美味しい地元の海の幸を着に、時間を気にすることなく好きなだけ飲めるというのは、幸せの極致かもしれません。皆さんから普段は聞けない貴重なお話を伺え、大いに勉強にもなりました。非日常のイベントとして最高です。今回不参加の皆さんも、来年はぜひこの幸せ気分を味わっていただきたいと思っております。ちなみに、帰宅後の翌朝に体重を測ったら2キロ増えていました……。 (内藤)

## 10・11・12月のスケジュール

10/1(水)	役員会	18:30開会	プラザ菜の花
10/23(木)	定例夕食会	18:30開会 参加費 3,000円 会場: 艦割烹みどり	卓話講師: 田口美恵子氏 テリシャスハーツ
11/5(水)	役員会	18:30開会	プラザ菜の花
11/27(木)	定例夕食会	18:30開会 参加費 3,000円 会場: 艦割烹みどり	
12/3(水)	役員会	18:30開会	プラザ菜の花
12/25(木)	定例夕食会	18:30開会 参加費 3,000円 会場: 艦割烹みどり	

※ 第一回経営研修会は11月に開催予定です。詳細決定次第、ご案内致します。